

学校教育目標

21世紀を生きるための「教養」を高める生徒の育成

設置目的から

- ◇ 本学の教員，学部学生及び大学院生による普通中等教育の理論的，実的研究に協力する。
- ◇ 学部の方針に基づき，本学学部学生の実習や授業研究等，教員養成に必要な実地教育を行うとともに，学部及び大学院における教職に関する教育に寄与する。
- ◇ 県内外の教育機関に対して広く研究成果を還元するとともに，県及び県内自治体との人事交流協定に基づいて教員の研修を行い地域の教育力向上に寄与する。
- ◇ 附属学校は，学校教育法の定めるところにより，上記の目的に沿った教育を行う。

現状と課題【教員・組織】

- ・ 生徒が学びに浸りきるような課題の設定，授業展開に努力する必要がある。
- ・ 特別な配慮を要する生徒への支援体制を創る必要がある。
- ・ 生徒指導において組織としての対応の在り方を見直し，構築する必要がある。
- ・ 大学や他附属との連携を一層生かす工夫が必要である。
- ・ 地域と連携し，地域の教育に貢献できる，時代の変化に対応した体制を構築する。

生徒・保護者の願い

- ◇ 安全で安心して生活できる学校
- ◇ 一人一人の能力を伸ばし，学力を高める指導
- ◇ 豊かで思いやりに満ちた教育環境
- ◇ 一人一人が自己有用感を感じられる充実した学校生活

現状と課題【生徒】

- ・ 高い価値を求めるため，それぞれが優れているにも関わらず，自己有用感が低いことがある。
- ・ 周りへの配慮が不十分で，迷惑をかけることがある。（学校生活，公共の場）
- ・ 失敗や挫折の経験が少ない傾向があり，躓きに弱く，意欲を失う面が見られる。

現状と課題【保護者・地域】

- ・ 教育に関心が高く，協力的な保護者との信頼関係を高め，互いに協力して生徒を育成する。
- ・ 文京地区との関係作りを図り，地域の文化センターの一つとして認知され，貢献することをめざす。
- ・ 県教育委員会との連携を強め，研修機関としての役割を果たすとともに，先進的実践例を提供できるようにする。

めざす学校像

- みんなが安心して学べる学校
- みんなが希望を持って自己実現できる学校
- 静かで美しい学校

めざす生徒像

より高い価値をめざし
たくましく実践し
ともに向上する生徒

めざす教師像

- 人間性豊かで，人として魅力のある教師
- 専門職としての力量及び使命感と，常に学び続ける謙虚さをもった教師

学校経営方針

- 1 一人一人の生徒が，「自主の名門」という自負の下，誇りと自信をもって主体的に物事に取り組む生き方をするように，生徒理解と指導力の向上（温かな集団づくりと学力の向上）に努める。
- 2 質の高い授業を行い，生徒の学力向上を図るとともに，教育実習生及び同僚としての地域の教員にモデルとしての授業を提示できるようにする。
- 3 温かく，思いやりの心をもって接することのできる明るく活力あるコミュニティを形成する。
- 4 チームとして前進する組織作りをする。

重点事項により目指す方向性

- 1 生徒理解と指導力の向上 → 研究・研修の充実，生徒と接する時間の充実 → 信頼関係の高まり → ともに向上する集団の形成
- 2 質の高い授業 → 研究・研修の充実，教師の創造性の発揮 → 授業の充実・達成感の醸成 → より高い価値をめざす気概の醸成
- 3 温かなコミュニティ → 明るく元気で協調的な教師集団づくり → リーダーを中心に相互に支え合い，尊敬し合う教師集団づくり
→ 温かな学級（学年）経営 → 思いやりのある生徒集団の形成
→ 集団としての力の高まり → より高い価値をめざし たくましく実践する生徒の育成
- 4 チームとしての機能向上 → 役割の明確化・目標の共有 → 目標の内面化・当事者意識の高まり
（教師・生徒） → より高い価値をめざし たくましく実践し ともに向上する生徒の育成・教師集団づくり

組織目標

- 1 （ともに向上する）温かな集団づくり（生徒理解に基づく集団づくり）
- 2 学力向上（質の高い授業を支える指導力の向上）

学校評価計画の作成と実行・改善
（別紙参照）

自己目標の策定
（教員評価）
（個々で作成）

具体的な方策

- 1 学級経営の強化（計画委員会の活性化等），生徒の活動を通して個々を認め合い，他者を思いやる集団をつくる。
- 2 校内研修の充実，ミニ公開授業研究会及び授業づくり研究会を活用して指導力の向上を図る。

学校教育目標の達成

21世紀を生きるための「教養」を高め続ける生徒の育成

～より高い価値をめざし たくましく実践し ともに向上する生徒～